

第45回伊勢湾オープンヨットレース大会

～クルーザーの部帆走指示書～



クルーザーの部帆走指示書

1. 適用規則

セーリング競技規則 2021～2024 (RRS) に定義された規則を適用する。ただし、これらの規則等のうち、本帆走指示書によって変更されたものを除く。

2. 責任の所在

- ① 艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇が十分に艤装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天時にも適応出来るクルーを乗り組ませなければならない。
- ② 乗組員は、自己の責任において自身の安全を確保し、落水等の無いように努めなければならない。
- ③ 何れの艇に乗るか、またレースに参加するか否かは全て各艇の乗組員の責任のみで決定される。
- ④ レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは全て各艇の責任のみで決定される。
- ⑤ 本大会のレース委員会は、参加艇や乗組員の事故（死亡、傷害、沈没、破損等）及び第三者に与えた損害に対する如何なる責任も負わない。
- ⑥ 各艇は緊急地震速報等の災害に関する情報収集を積極的に行うものとし、その情報に基づく避難についての責任は艇長にある。

3. 参加資格

- ① 参加艇は小型船舶検査機構の安全検査に合格していること。
- ② 乗務員の内1名以上が小型船舶操縦免許証を持っていること。
- ③ 乗務員が2名以上であること。
- ④ ライフラインがハルを全周していること。
- ⑤ 自己復元性があること。
- ⑥ 連絡用の携帯電話を所持していること。

4. 出艇申告

出艇申告及び帰着申告は実施しない。

※出艇及び帰着は参加者の責任において実施し、主催者及びレース委員会は人員及び物件に対するすべての損害の責任を負わない。

5. レース日程

10月16日 (日)

レーススタート	10:15 (予定)
タイムリミット	14:30

6. 競技者への通告

競技者への通告は、公式掲示板に掲示される。

公式掲示板は津ヨットハーバーホームページ上に設置する。

公式掲示板

URL <http://www.tsu-yachtharbor.jp/event/race/index.html>



7. コース及びマーク

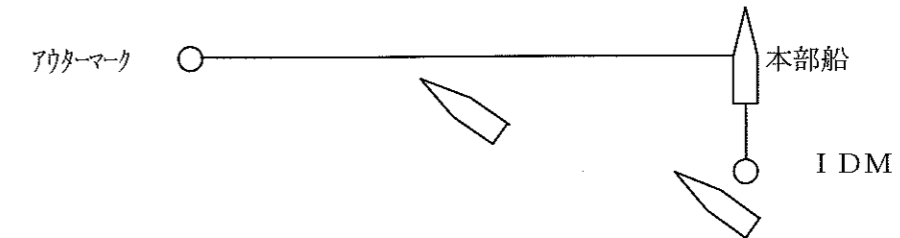
- ① 津ヨットハーバー～松阪港近辺を往復するショートディスタンスレースとする。
- ② 各マークの回航方法はコース図による (西風時、東風時)。
- ③ 予告信号以前に本部艇に「艇の帆走すべきコース」を掲示する。
 - ・ピンク旗が掲示されたとき 西風時のコース
 - ・グリーン旗が掲示されたとき 東風時のコース
- ④ 本部艇はオープンレース旗 (緑) を掲げたクルーザー、マークは黄色。

8. スタート及びフィニッシュライン

① スタートライン

オレンジ旗を掲げた本部船のマストとアウトマークを結ぶ線をスタートラインとする。

本部船のスターンから3～5mにインナー・ディスタンス・マーク (IDM) を流す。各艇はIDMとアウトマークの間を通過してスタートすること。



② フィニッシュライン

ブルー旗を掲げた本部船のマストとマークを結ぶ線をフィニッシュラインとし、必ず本部船を右に見てフィニッシュする。

9. スタート方法及びスタートに関する信号

- | | |
|------------|---|
| 5分前 (予告信号) | クラス旗展開 音響信号1声 |
| | *クラス旗 オープン旗 (赤) |
| 4分前 (準備信号) | P旗展開 音響信号1声 |
| 1分前 | P旗降下 音響信号1声 |
| スタート | クラス旗降下 音響信号1声 |
| | *スタート信号後10分以内にスタートラインを切れない艇は失格とする。(DNS) |
| リコール艇あり | X旗展開 音響信号1声 |
| | *スタート後4分間あるいはリコール艇が全艇復帰するまでの間展開する。(リコール艇はX旗展開中に各艇の責任において復帰するものとする。) |
| ゼネラルリコール | 第1代表旗展開 音響信号2声 |
| | 第1代表旗降下 *予告信号の1分前に降下 音響信号1声 |
| 延期 | 回答 (AP) 旗展開 音響信号2声 |
| | 回答 (AP) 旗降下 *予告信号の1分前に降下 音響信号1声 |

10. コース短縮

マークとS旗を展開した本部船をフィニッシュラインとし、本部船を右に見てフィニッシュすること。

11. タイムリミット

スタート時間に関わらず、タイムリミットは14:30とする。それ以前にフィニッシュ出来なかった艇はDNFとする。

12. エンジンの使用

スタート準備信号（4分前）以後はエンジンを使用してはならない。

13. ゼッケン番号

ゼッケン番号は艇の右舷バウに貼り付けること。

14. レース艇の義務

- ① スタートしない艇は、レース本部へ速やかに連絡しなければならない。
- ② 途中棄権（リタイヤ）した艇は速やかにレース本部へ連絡しなければならない。
* レース本部 TEL 059-226-0525（津ヨットハーバー）
* 連絡は必ず艇長が行い、第3者に託してはならない。

15. ライフジャケット

- ① 全員ライフジャケットを着用すること。
- ② 着用していない場合は失格（DSQ）とする。

16. 抗議

- ① 抗議はRRS61に従わなければならない。
- ② 赤色旗を掲揚してフィニッシュし、かつ抗議を提出する艇はフィニッシュ後、その旨を本部船に速やかに報告しなければならない。
- ③ 抗議のある艇は、レース終了後1時間以内に抗議書をレース本部に提出しなければならない。

17. 安全

参加艇は本レースの目的を尊重し、安全については十分に配慮すること。インシデントが発生しそうな場合は必ず声を掛けること。また、たとえ航路権を持つ艇であっても衝突を回避すること。

18. ペナルティーの履行

- ① レース中に“艇が出会った場合”の規則に違反した場合は720度（2タック、2ジャイブ）のペナルティーの履行を行うこと。
- ② マークに接触した場合は360度（1タック、1ジャイブ）のペナルティーの履行を行うこと。
- ③ 準備信号後スタートまでの間に起こったインシデント、マークタッチはスタートまでに他艇の邪魔にならない場所でペナルティの履行を行う事ができる。
* ペナルティーの履行は他艇の邪魔にならない場所で速やかに行うこと。

19. 順位

- ① レース委員会が定めた各艇のレーティングにより修正タイムを競う。
- ② 別途定める「IOSR（Isewan Open Special Rating）」計算式で修正時間を算出し、その小なるものを上位とし順位を決定する。
- ③ 修正時間が同じ場合には、IOSRの小なるものを上位とする。

20. レース本部の所在

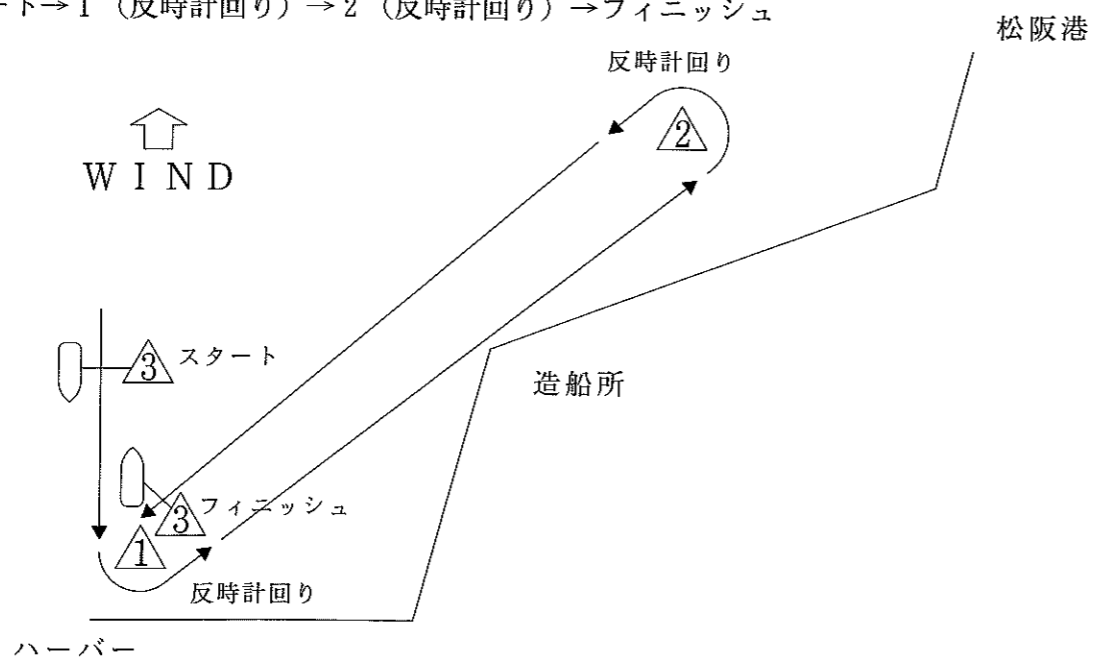
津ヨットハーバー事務所へレース本部を設置する。

21. レース艇からのゴミの投棄を禁ずる。

コース図

西風時のコース (ピンク旗掲揚)

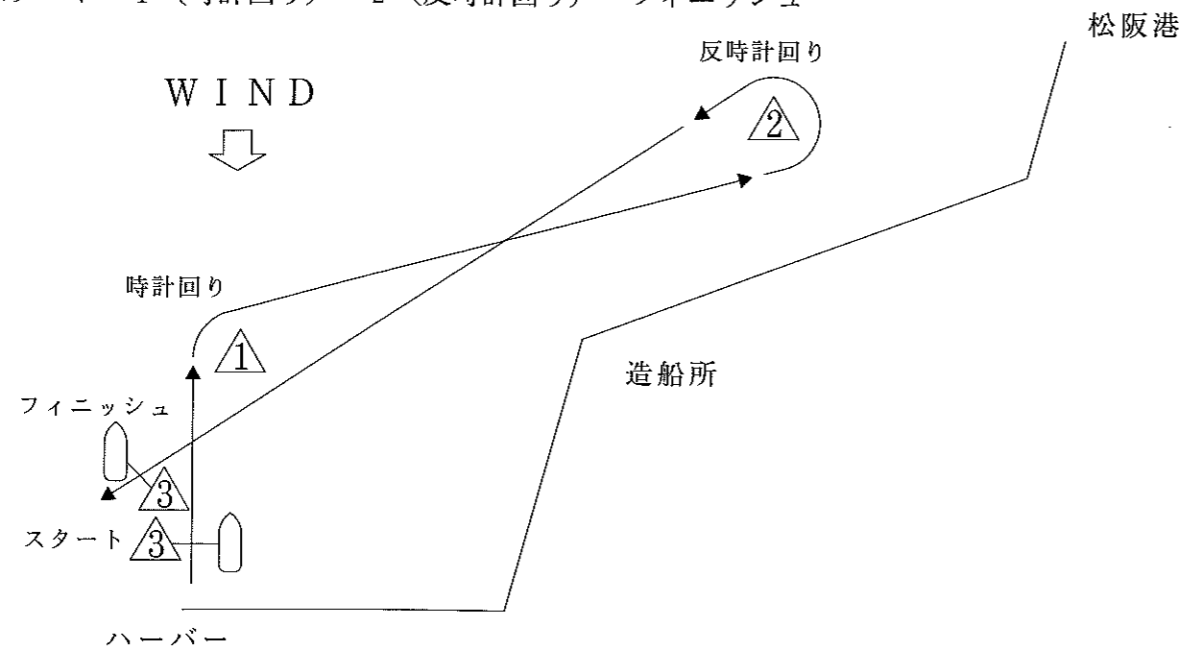
スタート→1 (反時計回り) →2 (反時計回り) →フィニッシュ



- * NO1 ウェザーマークは、スタートラインより0.5~1.5マイル先へ設置予定
- * NO2 マークはJMU (造船所) カド~松阪港赤ブイへ引いたライン上へ設置予定

東風時のコース (グリーン旗掲揚)

スタート→1 (時計回り) →2 (反時計回り) →フィニッシュ

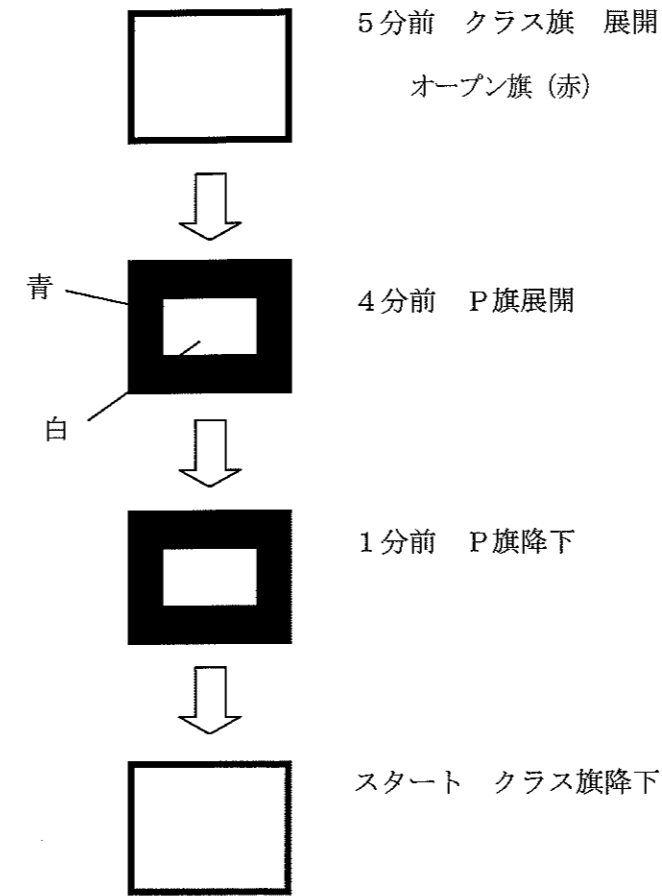


- * NO1 ウェザーマークは、スタートラインより0.5~1.5マイル先へ設置予定
- * NO2 マークはJMU (造船所) カド~松阪港赤ブイへ引いたライン上へ設置予定

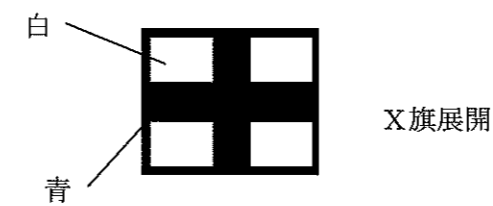
ヨットレース入門

1. フラッグ

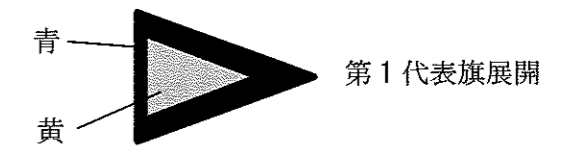
① スタート時に使用するフラッグ



② スタート時・リコール艇あり



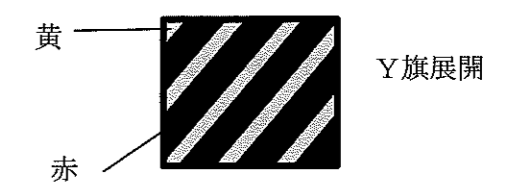
③ スタート時・ゼネラルリコール



④ スタート延期



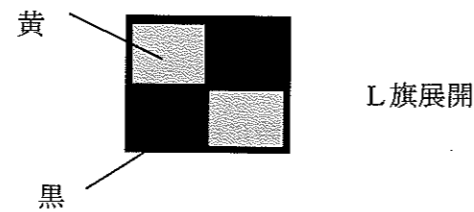
⑤ ライフジャケット着用



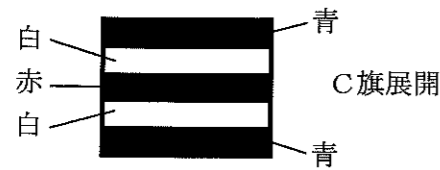
⑥ コース短縮



⑦ 声の届く範囲に集まれ



⑧ 次のマーク位置変更



2. レーシングルール (JSAF会員手帳より抜粋)

① 基本原則

セーリング・スポーツの競技者は、スポーツマンシップにのっとり規則を守り、これに違反した場合は、速やかにペナルティーを履行するか、またはリタイアする事を原則とする。

② 10個の守るべき競技規則 (ヨット競技10戒)

- 1) ポート艇はスタボード艇を避ける
- 2) 風上艇は風下艇を避ける
- 3) 後ろの艇は前にいる艇を避ける
- 4) タックやジャイブする艇は他艇を避ける
- 5) 自分が有利でも衝突を避ける
- 6) 航路を変更するときは、他の艇に避ける時間を与えよ
- 7) マークルームの内側は、マーク回航のルームをもらう権利がある
- 8) 後進艇やレース中でない艇は、レース中の艇を避ける
- 9) 規則に違反したらペナルティーを履行する
- 10) プロテスト・ルームで長時間過ごすより、進路をゆずる方がずっとよい

3. 安全とマナー

レースの参加、またレースの中止の決定は、各参加艇が自らの責任で決定するものです。

AP旗やN旗を使ってのレース中止は運営側での判断ですが、初心者の場合、運営側ではレース続行に問題ないと思っている風域でも既に自分の限界を超えてしまうことも考えられます。

天候の予測を常に行い、早め早めにレースを中止してリタイアする決断をすることも大切です。

リタイアして港に戻る時は、運営艇や傍にいる艇にリタイアすることを注げて下さい。

最後に運営スタッフはボランティアで行っています。

レース海面についたら 『お願いします!!』

レースを終了したら 『有難うございました!!』 と声をかけましょう!!

伊勢湾オープンヨットレース歴代優勝者・優勝艇

第1回	1977年	ジョナサン	(6.2 JOG)
第2回	1978年	バックラス	(バーバリアン24)
第3回	1979年	富羊	(ニコルソン30)
第4回	1980年	ビッグヒーロー	(ホランド26)
第5回	1981年	ビッグヒーロー	(ホランド26)
第6回	1982年	ピーターパン	(オセアン22)
第7回	1983年	シュビシュバ	(タカイ30)
第8回	1984年	トウカイ	(J-24)
第9回	1985年	スターダスト	(J-24)
第10回	1986年	(クラスA) ナージャ (クラスB) 刀	(J-24) (レプトン21)
第11回	1987年	(クラスA) スターダスト (クラスB) アスター	(J-24) (ヤマハ30ST)
第12回	1988年	(レースクラス) スターダスト (クルージングクラス) アスター	(J-24) (ヤマハ30ST)
第13回	1989年	(レースクラス) スターダスト (クルージングクラス) ウーピー	(J-24) (タカイ27)
第14回	1990年	(Aクラス) スターダスト (Bクラス) キャンディ	(J-24) (ヤマハ26S)
第15回	1991年	(Aクラス) コスモス (Bクラス) ツインカム	(ヤマハ31S) (カン23)
第16回	1992年	(Aクラス) エスプリ (Bクラス) リラクシン	(IMS950) (IMS950)
第17回	1993年	(Aクラス) エスプリ (Bクラス) スターダスト	(IMS950) (J-24)
第18回	1994年	(Aクラス) スターダスト (Bクラス) サザンクロス	(J-24) (ヤマハ26S)
第19回	1995年	(Aクラス) シュビシュバ (Bクラス) アイアム・ツインカム	(IMS1030) (カン23)
第20回	1996年	(Aクラス) シュビシュバ (Bクラス) アスター	(IMS1030) (ヤマハ23)
第21回	1997年	(Aクラス) モナリサ (Bクラス) ブルーマーリン	(J-24) (ヤマハ23II)
第22回	1998年	(Aクラス) モナリサ (Bクラス) ブルーマーリン	(J-24) (ヤマハ23II)
第23回	1999年	(Aクラス) シュビシュバ (Bクラス) ブルーマーリン	(IMS1030) (ヤマハ23II)
第24回	2000年	(Aクラス) シュビシュバ (Bクラス) ブルーマーリン	(IMS1030) (ヤマハ23II)
第25回	2001年	(Aクラス) スターダスト (Bクラス) ブルーマーリン	(J-24) (ヤマハ23II)

第26回	2002年	(Aクラス) スターダスト (J-24) (Bクラス) アンクル・トム (リュンドメ550)
第27回	2003年	(Aクラス) ミスタースターボード (ヤマハ31S) (Bクラス) アンクル・トム (リュンドメ550)
第28回	2004年	(Aクラス) モラモラⅢ (パイオニア9) (Bクラス) スターダスト (J-24)
第29回	2005年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) スターダスト (J-24)
第30回	2006年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) スターダスト (J-24)
第31回	2007年	(Aクラス) ジョナサン (ヤマハ30S) (Bクラス) フェアリーⅢ (ジョイラック26)
第32回	2008年	(Aクラス) LEIA (ヤマハ34S) (Bクラス) Zorro (J-24)
第33回	2009年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) モナリサ (J-24)
第34回	2010年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) スターダスト (J-24)
第35回	2011年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) モナリサ (J-24)
第36回	2012年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) 海星 (J-24)
第37回	2013年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) Zorro (J-24)
第38回	2014年	(Aクラス) ベントファミリア (グランドソレイユ36) (Bクラス) モナリサ (J-24)
第39回	2015年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (総合優勝・Bクラス) モナリサ (J-24)
第40回	2016年	(総合優勝・Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) Zorro (J-24)
第41回	2017年	(総合優勝・Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) LEIA (ヤマハ26ⅡS)
第42回	2018年	(総合優勝・Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) Zorro (J-24)
第43回	2019年	(Aクラス) スターダスト29 (J-29) (総合優勝・Bクラス) Zorro (J-24)
第44回	2020年	(総合優勝・Aクラス) スターダスト29 (J-29) (Bクラス) Zorro (J-24)

新型コロナウイルス感染予防について

- 1.参加者は厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること
- 2.マスク等感染防止対策に必要なものは参加者自身で準備すること
- 3.新型コロナウイルス感染の疑いがある場合は大会に参加することができない
- 4.大会当日参加者は自宅を出るときに体調確認(検温等)を実施し異常があれば大会に参加することができない
- 5.大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症が発症した場合は、主催者に速やかに報告すること
- 6.厚生労働省が提供する新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を参加者はダウンロードすること